

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 今宿作成日: 平成 31 年 3 月 9 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、外部からの参加が少なく、内容についてもホームからの報告が中心となっているため、参加委員を増員し、議題についても工夫しながら、会議内容の充実を図っていく。	複数の民生委員、薬剤師、公民館の館長、保育園の園長、他グループホームの管理者等に参加を要請し、幅広く意見、情報交換を行う中で、ホームと地域の課題の解決、地域貢献に繋がるような充実した運営推進会議を目指していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	開設2年目であり、近隣の教会の方との交流等、少しずつ交流が広がっているが、2階の地域交流室を積極的に活用し、地域住民が気軽に立ち寄ることができる、開かれたホームを目指していく。	地域交流室の開放を広報し、認知症についての講座や介護相談、予防体操等、地域に向けた催しを実施する等、地域の方が訪れやすくなるきっかけ作りや、保育園、幼稚園との交流、小・中学校の体験学習の受け入れ等、次世代交流にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。